

平成24年度病害虫発生予報第11号

長崎県病害虫防除所長

向こう1か月間における主な病害虫の発生動向は次のように予想されます。

農作物名	病害虫名	発 生 程 度	
		現 況	予 想
きゅうり	べと病	並	やや多
	うどんこ病	並	並
	褐斑病	少	少
	菌核病	並	並
	灰色かび病	並	並
	ミナミキイロアザミウマ	やや多	やや多
	コナジラミ類	やや少	やや少
トマト	黄化葉巻病	並	並
	灰色かび病	並	並
	コナジラミ類	やや少	やや少
いちご (本圃)	うどんこ病	やや少	やや少
	灰色かび病	並	並
	アブラムシ類	並	並
	ハダニ類	並	並
たまねぎ	べと病	並	並
	白色疫病	並	並
	ネギアザミウマ	少	少
ブロッコリー	黒腐病	並	並
	べと病	並	並

【発生予報】 本文の( )内は平年値

**きゅうり**

1. べと病

(1) 予報内容

発生程度 やや多

(2) 予報の根拠

ア 2月上旬の巡回調査(12筆)の結果、発病葉率は6.3%(3.4%)、発生圃場率は25.0%(35.6%)であり、一部多発圃場が認められた。

イ 向こう1か月の降水量は平年より多い見込みであり本病の発生に好適である。

(3) 防除上注意すべき事項

ア 病勢が進行すると防除困難になるため、早期発見・早期防除に努める。

イ 薬剤耐性菌を生じるおそれがあるので、異なる系統の薬剤をローテーション散布する。

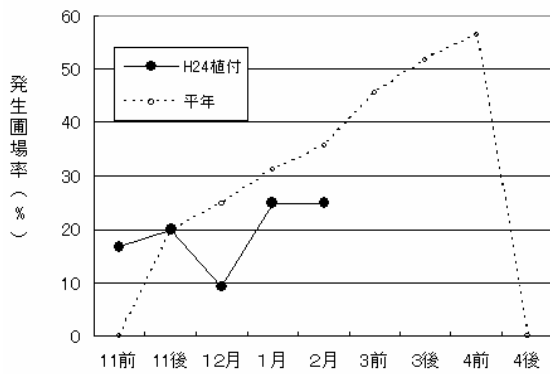


図 キュウリべと病 発生圃場率の推移(巡回調査)

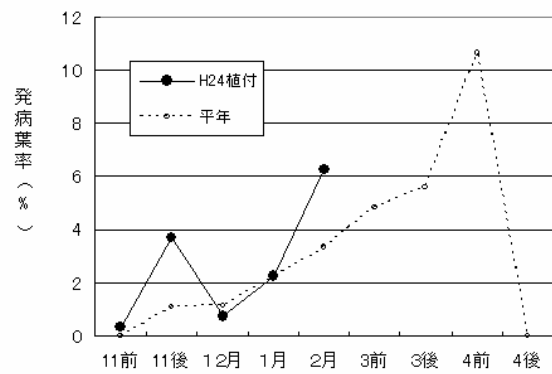


図 キュウリべと病 発病葉率の推移(巡回調査)

## 2. うどんこ病

### (1) 予報内容

発生程度 並

### (2) 予報の根拠

2月上旬の巡回調査(12筆)の結果、発病葉率は10.9%(6.5%)、発生圃場率は33.3%(64.6%)であった。

## 3. 褐斑病

### (1) 予報内容

発生程度 少

### (2) 予報の根拠

2月上旬の巡回調査(12筆)の結果、発生を認めなかった(発病葉率3.4%、発生圃場率45.3%)。

## 4. 菌核病

### (1) 予報内容

発生程度 並

### (2) 予報の根拠

2月上旬の巡回調査(12筆)の結果、発生を認めなかった(発病果率0.0%、発生圃場率1.0%)。

## 5. 灰色かび病

### (1) 予報内容

発生程度 並

### (2) 予報の根拠

ア 2月上旬の巡回調査(12筆)の結果、発病果率は0.0%(0.0%)、発生圃場率は8.3%(2.1%)であった。

イ 向こう1か月の降水量は平年より多い見込みであり本病の発生に好適である。

## 6. ミナミキイロアザミウマ

### (1) 予報内容

発生程度 やや多

### (2) 予報の根拠

2月上旬の巡回調査(12筆)の結果、寄生葉率は5.3%(0.5%)、発生圃場率は16.7%(12.7%)であった。

### (3) 防除上注意すべき事項

ア 本虫は黄化えそ病を媒介するので、侵入防止に努めるとともに、黄色粘着トラップを施設内に設置し、早期発見・早期防除に努める。

- イ ハウス内および周辺の雑草は本虫の生息・増殖源となるので除去し、環境衛生に努める。
- ウ 本虫は芽に潜り込みやすいので、芽かきした摘葉は残さず集めて施設外に持ち出し、土中に埋めるか、ビニール袋等に入れて完全に枯れるまで密封処理する。
- エ 薬剤抵抗性対策のため、同一系統の薬剤は連用しない。

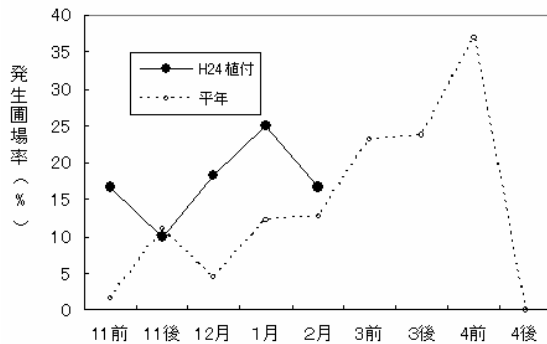


図 ミトキアザミワ発生圃場率の推移(巡回調査)

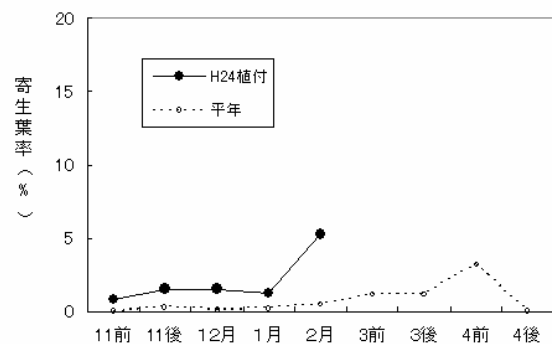


図 ミトキアザミワ寄生葉率の推移(巡回調査)

## 7. コナジラミ類

### (1) 予報内容

発生程度 やや少

### (2) 予報の根拠

2月上旬の巡回調査(12筆)の結果、寄生葉率は0.4%(1.7%)、発生圃場率は8.3%(28.3%)であった。

## トマト

### 1. 黄化葉巻病

#### (1) 予報内容

発生程度 並

#### (2) 予報の根拠

2月上旬の巡回調査(12筆)の結果、発病株率は0.2%(過去8カ年平均0.8%)、発生圃場率は33.3%(同27.5%)であった。

### 2. 灰色かび病

#### (1) 予報内容

発生程度 並

#### (2) 予報の根拠

ア 2月上旬の巡回調査(12筆)の結果、発病果率は0.0%(0.0%)、発生圃場率は8.3%(8.3%)であった。

イ 向こう1か月の降水量は平年より多い見込みであり本病の発生に好適である。

### 3. コナジラミ類

#### (1) 予報内容

発生程度 やや少

#### (2) 予報の根拠

2月上旬の巡回調査(12筆)の結果、発生を認めなかった(寄生株率0.5%、発生圃場率15.2%)。

# いちご

## 1. うどんこ病

### (1) 予報内容

発生程度 やや少

### (2) 予報の根拠

2月上旬の巡回調査(27筆)の結果、発生を認めなかった(発病株率0.4%、発生圃場率5.1%、発病果率0.0%、発生圃場率2.8%)。

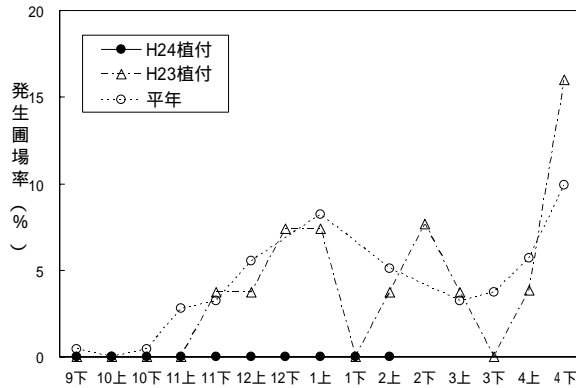


図 いちご うどんこ病 発生圃場率の推移  
平年: H14~H23の平均値(最大・小値除く)

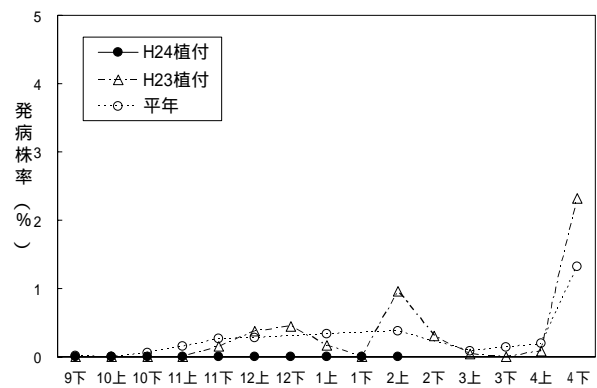


図 いちご うどんこ病 発病株率の推移  
平年: H14~H23の平均値(最大・小値除く)

## 2. 灰色かび病

### (1) 予報内容

発生程度 並

### (2) 予報の根拠

2月上旬の巡回調査(27筆)の結果、発病果率は0.1%(0.1%)、発生圃場率は7.4%(14.3%)であった。

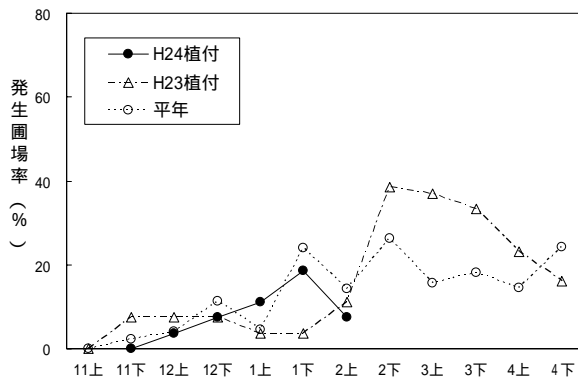


図 いちご 灰色かび病(果実) 発生圃場率の推移  
平年: H14~H23の平均値(最大・小値除く)

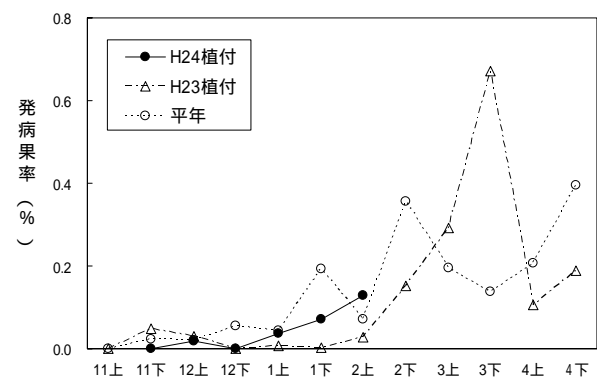


図 いちご 灰色かび病(果実) 発病果率の推移  
平年: H14~H23の平均値(最大・小値除く)

## 3. アブラムシ類

### (1) 予報内容

発生程度 並

### (2) 予報の根拠

2月上旬の巡回調査(27筆)の結果、寄生株率は0.6%(0.5%)、発生圃場率は3.7%(9.7%)であった。

## 4. ハダニ類

### (1) 予報内容

発生程度 並

## (2) 予報の根拠

2月上旬の巡回調査(27筆)の結果、寄生株率は4.4%(4.3%)、発生圃場率は33.3%(35.2%)であった。

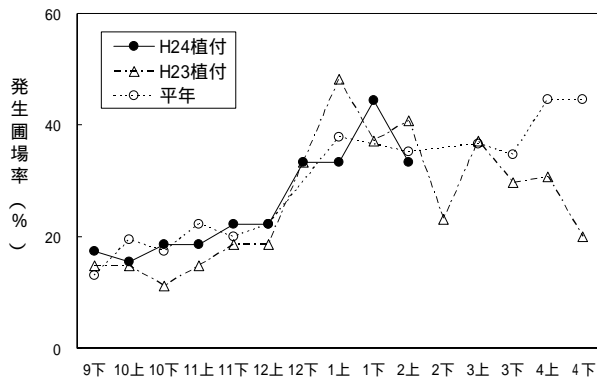


図 いちご ハダニ類 発生圃場率の推移  
平年: H14~H23の平均値(最大・小値除く)

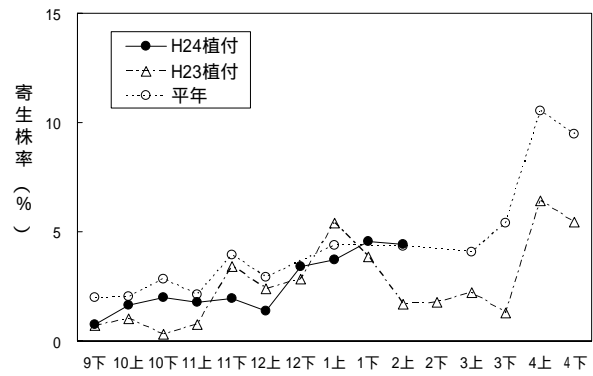


図 いちご ハダニ類 寄生株率の推移  
平年: H14~H23の平均値(最大・小値除く)

## たまねぎ

### 1. ベと病

#### (1) 予報内容

発生程度 並

#### (2) 予報の根拠

2月上旬の巡回調査(15筆)の結果、発生を認めなかった(発病株率0.0%、発生圃場率0.8%)。

### 2. 白色疫病

#### (1) 予報内容

発生程度 並

#### (2) 予報の根拠

2月上旬の巡回調査(15筆)の結果、発生を認めなかった(発病株率0.1%、発生圃場率6.7%)。

### 3. ネギアザミウマ

#### (1) 予報内容

発生程度 少

#### (2) 予報の根拠

2月上旬の巡回調査(15筆)の結果、寄生株率は2.4%(16.9%)、発生圃場率は26.7%(70.8%)であった。

## ブロッコリー

### 1. 黒腐病

#### (1) 予報内容

発生程度 並

#### (2) 予報の根拠

2月上旬の巡回調査(8筆)の結果、発病株率は1.3%(過去5カ年平均 0.1%)、発生圃場率は12.5%であった(同2.9%)。

## 2. べと病

### (1) 予報内容

発生程度 並

### (2) 予報の根拠

2月上旬の巡回調査(8筆)の結果、発生を認めなかった(過去5ヵ年平均 発病株率0.6%、発生圃場率11.1%)。

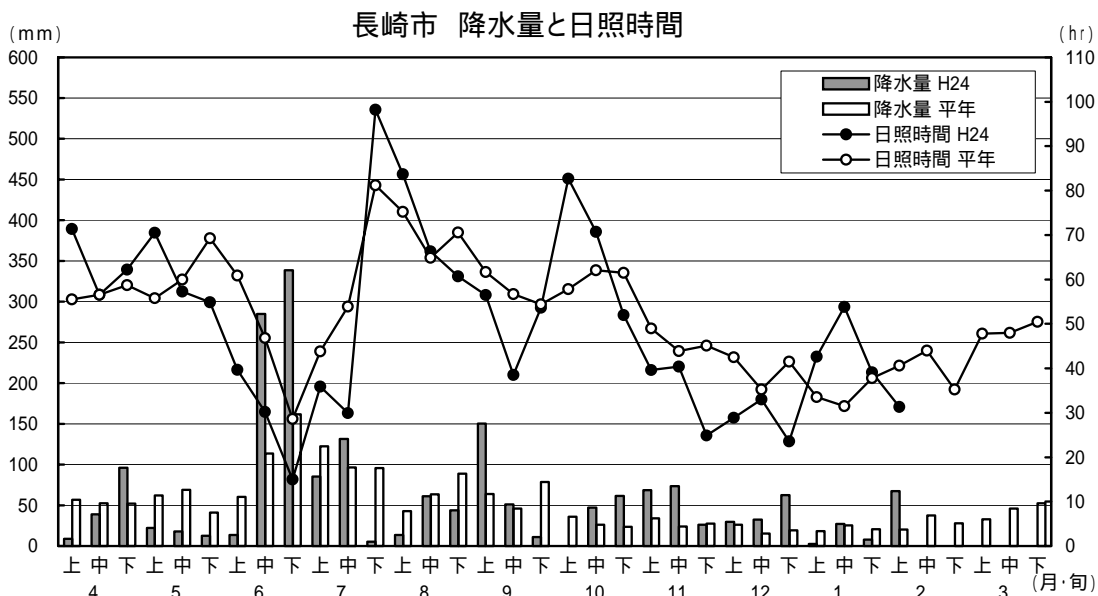
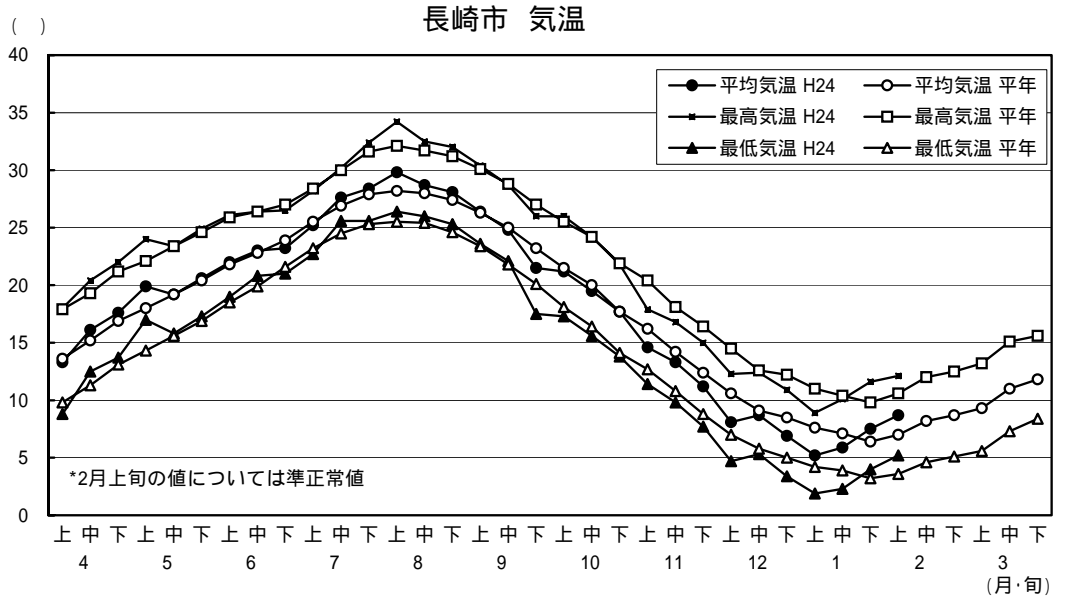
【参考】

気象 (平成25年2月15日発表 1か月予報 福岡管区气象台)  
要素別確率

要素	低い (少ない)	平年並	高い (多い)
気温	30	40	30
降水量	30	30	40
日照時間	30	40	30

予報対象地域：九州北部地域

平成24年度の気象経過 (長崎海洋气象台)



病虫害防除所の発行する情報の入手は、インターネットをご利用ください。

「防除所ホームページ」 アドレス：<http://www.jpnp.ne.jp/nagasaki/>

この情報に関するお問い合わせ

長崎県病虫害防除所 TEL：0957-26-0027